



平成28年12月19日

各 位

会社名 株式会社イントランス  
代表者名 代表取締役社長 麻生 正紀  
(コード番号3237 東証マザーズ)  
問合せ先 取締役管理本部部長 濱谷 雄二  
( TEL 03-6803-8100 )

(訂正) 「平成26年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成26年5月13日付で発表いたしました「平成26年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容につきまして、下記のとおり一部訂正を行いましたので、お知らせいたします。

なお、訂正箇所につきましては、\_\_\_線を付しております。

訂正理由につきましては、平成28年12月19日付「過年度の有価証券報告書等に係る訂正報告書の提出及び決算短信等の訂正に関するお知らせ」をご参照ください。

以 上

「サマリー情報」 1 ページ

1. 平成26年3月期の連結業績（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

（訂正前）

（1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期	2,984	93.3	464	33.7	362	149.4	399	232.5
25年3月期	1,544	△9.3	347	0.7	145	△50.4	120	△63.8

（注） 包括利益 26年3月期 399 百万円（232.5%） 25年3月期 120 百万円（△63.8%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
26年3月期	10.99	10.80	25.2	7.1	15.6
25年3月期	4.16	3.46	10.7	3.7	22.5

（参考） 持分法投資損益 26年3月期 ー 百万円 25年3月期 ー 百万円

（注）平成26年1月1日を効力発生日として、普通株式1株を200株に株式分割いたしました。1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益につきましては、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して計算しております。

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
26年3月期	748	△20	△612	379
25年3月期	△1,767	△4	1,958	264

（訂正後）

（1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期	2,984	152.0	464	—	362	149.4	399	232.5
25年3月期	1,184	△30.4	19	△94.3	145	△50.4	120	△63.8

（注） 包括利益 26年3月期 399 百万円（232.5%） 25年3月期 120 百万円（△63.8%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
26年3月期	10.99	10.80	25.2	7.1	15.6
25年3月期	4.16	3.46	10.7	3.7	1.7

（参考） 持分法投資損益 26年3月期 ー 百万円 25年3月期 ー 百万円

（注）平成26年1月1日を効力発生日として、普通株式1株を200株に株式分割いたしました。1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益につきましては、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して計算しております。

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
26年3月期	748	△20	△612	379
25年3月期	△1,857	△4	2,048	264

「サマリー情報」 2 ページ

(参考) 個別業績の概要

1. 平成26年3月期の個別業績 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(訂正前)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期	2,912	97.6	464	33.7	362	149.7	399	232.7
25年3月期	1,473	△1.5	347	0.6	145	△50.4	119	△63.8

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期	10.99	10.81
25年3月期	4.16	3.46

(注) 平成26年1月1日を効力発生日として、普通株式1株を200株に株式分割いたしました。1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益につきましては、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して計算しております。

(訂正後)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期	2,912	161.4	464	—	362	149.7	399	232.7
25年3月期	1,114	△25.5	19	△94.3	145	△50.4	119	△63.8

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期	10.99	10.81
25年3月期	4.16	3.46

(注) 平成26年1月1日を効力発生日として、普通株式1株を200株に株式分割いたしました。1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益につきましては、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して計算しております。

## 1. 経営成績・財政状態に関する分析

### (1) 経営成績に関する分析

(訂正前)

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府による各種政策、日本銀行による金融緩和策や日本における2020年夏季五輪の開催決定などにより経済成長への期待感が高まり、企業収益の回復や個人消費に改善の動きが見られるなど国内景気は好転の兆しが現れております。

当社グループの属する不動産業界におきましては、売買市場では良好な資金調達環境や景気回復への期待から J-R E I T やファンドを中心に新規物件取得の動きが活発化しております。また、賃貸市場においても新築オフィスビルの大量供給が一巡したことを背景に空室率の低下、都心3区の大規模ビルの賃料上昇等の改善傾向が見られ、業界を取り巻く環境は回復基調で推移しております。

このような状況下、当社グループはプリンシパルインベストメント事業において積極的な物件の仕入活動及び企画力を活かしてバリューアップした物件の売却活動に注力してまいりました。また、ソリューション事業において取引先に対し付加価値の高いソリューションを提供してまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は2,984,144千円(前年同期比93.3%増)、営業利益は464,790千円(前年同期比33.7%増)、経常利益は362,672千円(前年同期比149.4%増)、当期純利益は399,033千円(前年同期比232.5%増)となりました。

事業部門別の業績は以下のとおりであります。

(プリンシパルインベストメント事業)

プリンシパルインベストメント事業におきましては、開発計画を進めていた販売用不動産を売却したことなどにより売上高は2,544,220千円(前年同期比233.9%増)、セグメント利益は670,101千円(前年同期比549.9%増)となりました。

(ソリューション事業)

① 賃貸管理事業におきましては、子会社が保有する販売用不動産において賃料収入が大きく寄与したことにより売上高は247,747千円(前年同期比53.8%増)となりました。

② プロパティマネジメント事業におきましては、営業部門間の連携によるシナジー効果により管理物件数が36棟から61棟に増加し売上高は137,363千円(前年同期比9.2%増)となりました。

③ コンサル事業におきましては、不動産売買仲介業務等のフィービジネスにより売上高は54,813千円(前年同期比88.9%減)となりました。

これらによりソリューション事業の売上高は439,924千円(前年同期比43.7%減)、セグメント利益は252,177千円(前年同期比55.9%減)となりました。

(訂正後)

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府による各種政策、日本銀行による金融緩和策や日本における2020年夏季五輪の開催決定などにより経済成長への期待感が高まり、企業収益の回復や個人消費に改善の動きが見られるなど国内景気は好転の兆しが現れております。

当社グループの属する不動産業界におきましては、売買市場では良好な資金調達環境や景気回復への期待からJ-REITやファンドを中心に新規物件取得の動きが活発化しております。また、賃貸市場においても新築オフィスビルの大量供給が一巡したことを背景に空室率の低下、都心3区の大規模ビルの賃料上昇等の改善傾向が見られ、業界を取り巻く環境は回復基調で推移しております。

このような状況下、当社グループはプリンシパルインベストメント事業において積極的な物件の仕入活動及び企画力を活かしてバリューアップした物件の売却活動に注力してまいりました。また、ソリューション事業において取引先に対し付加価値の高いソリューションを提供してまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は2,984,144千円(前年同期比152.0%増)、営業利益は464,790千円(前年同期は19,825千円)、経常利益は362,672千円(前年同期比149.4%増)、当期純利益は399,033千円(前年同期比232.5%増)となりました。

事業部門別の業績は以下のとおりであります。

(プリンシパルインベストメント事業)

プリンシパルインベストメント事業におきましては、開発計画を進めていた販売用不動産を売却したことなどにより売上高は2,544,220千円(前年同期比233.9%増)、セグメント利益は670,101千円(前年同期比549.9%増)となりました。

(ソリューション事業)

① 賃貸管理事業におきましては、子会社が保有する販売用不動産において賃料収入が大きく寄与したことにより売上高は247,747千円(前年同期比53.8%増)となりました。

② プロパティマネジメント事業におきましては、営業部門間の連携によるシナジー効果により管理物件数が36棟から61棟に増加し売上高は137,363千円(前年同期比9.2%増)となりました。

③ コンサル事業におきましては、不動産売買仲介業務等のフィービジネスにより売上高は54,813千円(前年同期比59.5%減)となりました。

これらによりソリューション事業の売上高は439,924千円(前年同期比4.2%増)、セグメント利益は252,177千円(前年同期比3.2%増)となりました。

1. 経営成績・財政状態に関する分析

(2) 財政状態に関する分析

(訂正前)

② キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度に比べ115,023千円増加し379,700千円となりました。

また、当連結会計年度における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は748,783千円(前連結会計年度は1,767,506千円の使用)となりました。これは主として税金等調整前当期純利益362,672千円を計上し、たな卸資産の減少575,461千円等があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は20,981千円(前連結会計年度は4,657千円の使用)となりました。これは主として定期預金の預入による支出10,000千円、及び貸付けによる支出10,000千円等があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は612,779千円(前連結会計年度は1,958,295千円の獲得)となりました。これは主として短期借入れによる収入1,404,000千円等があったものの、短期借入金の返済による支出820,000千円、及び長期借入金の返済による支出1,618,000千円等があったことによるものです。

(訂正後)

② キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度に比べ115,023千円増加し379,700千円となりました。

また、当連結会計年度における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は748,783千円(前連結会計年度は1,857,506千円の使用)となりました。これは主として税金等調整前当期純利益362,672千円を計上し、たな卸資産の減少575,461千円等があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は20,981千円(前連結会計年度は4,657千円の使用)となりました。これは主として定期預金の預入による支出10,000千円、及び貸付けによる支出10,000千円等があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は612,779千円(前連結会計年度は2,048,295千円の獲得)となりました。これは主として短期借入れによる収入1,404,000千円等があったものの、短期借入金の返済による支出820,000千円、及び長期借入金の返済による支出1,618,000千円等があったことによるものです。

## 4. 連結財務諸表

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(訂正前)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)
売上高	1,544,021	2,984,144
売上原価	868,668	2,061,866
売上総利益	675,353	922,278
販売費及び一般管理費	327,727	457,487
営業利益	347,625	464,790
営業外収益		
受取利息	184	2,479
還付加算金	58	-
受取手数料	-	359
その他	-	6
営業外収益合計	243	2,845
営業外費用		
支払利息	75,974	89,049
資金調達費用	126,458	14,563
その他	30	1,350
営業外費用合計	202,463	104,964
経常利益	145,405	362,672
特別損失		
関係会社整理損	21,306	-
特別損失合計	21,306	-
税金等調整前当期純利益	124,098	362,672
法人税、住民税及び事業税	3,805	27,853
法人税等調整額	267	△64,214
法人税等合計	4,073	△36,360
少数株主損益調整前当期純利益	120,025	399,033
少数株主利益	-	-
当期純利益	120,025	399,033

(訂正後)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)
売上高	1,184,401	2,984,144
売上原価	836,848	2,061,866
売上総利益	347,552	922,278
販売費及び一般管理費	327,727	457,487
営業利益	19,825	464,790
営業外収益		
受取利息	184	2,479
受取手数料	-	359
受取補償金	327,800	-
その他	58	6
営業外収益合計	328,043	2,845
営業外費用		
支払利息	75,974	89,049
資金調達費用	126,458	14,563
その他	30	1,350
営業外費用合計	202,463	104,964
経常利益	145,405	362,672
特別損失		
関係会社整理損	21,306	-
特別損失合計	21,306	-
税金等調整前当期純利益	124,098	362,672
法人税、住民税及び事業税	3,805	27,853
法人税等調整額	267	△64,214
法人税等合計	4,073	△36,360
少数株主損益調整前当期純利益	120,025	399,033
少数株主利益	-	-
当期純利益	120,025	399,033



4. 連結財務諸表

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)

(訂正前)

(単位：千円)

	株主資本					新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
当期首残高	931,877	701,877	△568,841	△2,476	1,062,436	41,348	<u>990,000</u>	<u>2,093,785</u>
当期変動額								
新株の発行	2,514	2,514			5,028			5,028
当期純利益			120,025		120,025			120,025
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)						△856	<u>△940,000</u>	<u>△940,856</u>
当期変動額合計	2,514	2,514	120,025	—	125,054	△856	<u>△940,000</u>	<u>△815,802</u>
当期末残高	934,391	704,391	△448,815	△2,476	1,187,491	40,491	50,000	1,277,982

(訂正後)

(単位：千円)

	株主資本					新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
当期首残高	931,877	701,877	△568,841	△2,476	1,062,436	41,348	<u>900,000</u>	<u>2,003,785</u>
当期変動額								
新株の発行	2,514	2,514			5,028			5,028
当期純利益			120,025		120,025			120,025
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)						△856	<u>△850,000</u>	<u>△850,856</u>
当期変動額合計	2,514	2,514	120,025	—	125,054	△856	<u>△850,000</u>	<u>△725,802</u>
当期末残高	934,391	704,391	△448,815	△2,476	1,187,491	40,491	50,000	1,277,982

## 4. 連結財務諸表

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書  
(訂正前)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	124,098	362,672
減価償却費	2,791	1,854
賞与引当金の増減額 (△は減少)	77	△205
受取利息	△184	△2,479
支払利息	75,974	89,049
資金調達費用	126,458	14,563
関係会社整理損	21,306	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,914	△655
前渡金の増減額 (△は増加)	△86,340	-
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	3,777	2,975
営業出資金の増減額 (△は増加)	-	△260,000
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,022,782	575,461
前受金の増減額 (△は減少)	24,375	△1,151
その他の資産の増減額 (△は増加)	△45,436	1,574
その他の負債の増減額 (△は減少)	49,789	57,603
その他	653	2,239
小計	<u>△1,728,355</u>	843,504
利息の受取額	167	846
利息の支払額	△49,500	△89,892
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	10,181	△5,674
営業活動によるキャッシュ・フロー	<u>△1,767,506</u>	748,783
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	-	△10,000
無形固定資産の取得による支出	-	△980
関係会社の整理による収入	28,393	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△841
貸付けによる支出	△50,000	△10,000
貸付金の回収による収入	20,000	-
その他	△3,051	840
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△4,657</u>	△20,981
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,970,000	1,404,000
短期借入金の返済による支出	△2,270,000	△820,000
長期借入れによる収入	3,767,078	130,000
長期借入金の返済による支出	△438,591	△1,618,000
株式の発行による収入	4,142	355,784
少数株主への払戻による支出	△940,000	△50,000
手数料の支払額	△134,333	△14,563
財務活動によるキャッシュ・フロー	<u>1,958,295</u>	△612,779
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	186,131	115,023
現金及び現金同等物の期首残高	78,545	264,677
現金及び現金同等物の期末残高	264,677	379,700

(訂正後)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	124,098	362,672
減価償却費	2,791	1,854
賞与引当金の増減額 (△は減少)	77	△205
受取利息	△184	△2,479
支払利息	75,974	89,049
資金調達費用	126,458	14,563
関係会社整理損	21,306	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,914	△655
前渡金の増減額 (△は増加)	△86,340	-
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	3,777	2,975
営業出資金の増減額 (△は増加)	-	△260,000
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,022,782	575,461
前受金の増減額 (△は減少)	24,375	△1,151
その他の資産の増減額 (△は増加)	△45,436	1,574
その他の負債の増減額 (△は減少)	△40,210	57,603
その他	653	2,239
小計	<u>△1,818,355</u>	843,504
利息の受取額	167	846
利息の支払額	△49,500	△89,892
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	10,181	△5,674
営業活動によるキャッシュ・フロー	<u>△1,857,506</u>	748,783
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	-	△10,000
無形固定資産の取得による支出	-	△980
関係会社の整理による収入	28,393	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△841
貸付けによる支出	△50,000	△10,000
貸付金の回収による収入	20,000	-
その他	△3,051	840
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△4,657</u>	△20,981
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,970,000	1,404,000
短期借入金の返済による支出	△2,270,000	△820,000
長期借入れによる収入	3,767,078	130,000
長期借入金の返済による支出	△438,591	△1,618,000
株式の発行による収入	4,142	355,784
少数株主への払戻による支出	△850,000	△50,000
手数料の支払額	△134,333	△14,563
財務活動によるキャッシュ・フロー	<u>2,048,295</u>	△612,779
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	186,131	115,023
現金及び現金同等物の期首残高	78,545	264,677
現金及び現金同等物の期末残高	264,677	379,700

「添付資料」15ページ

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)  
(訂正前)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額 (注)2
	プリンシパル インベスト メント事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	762,020	<u>782,000</u>	<u>1,544,021</u>	—	<u>1,544,021</u>
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	762,020	<u>782,000</u>	<u>1,544,021</u>	—	<u>1,544,021</u>
セグメント利益	103,110	<u>572,242</u>	<u>675,353</u>	—	<u>675,353</u>
セグメント資産	4,713,660	19,113	4,732,774	368,906	5,101,681
その他の項目					
減価償却費	—	1,344	1,344	1,447	2,791
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	—	—	—	—	—

(注) 1 セグメント資産又はその他の項目の調整額は、報告セグメントに帰属しない本社の資産又は費用であります。

2 セグメント利益の合計は、連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

(訂正後)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額 (注)2
	プリンシパル インベスト メント事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	762,020	<u>422,380</u>	<u>1,184,401</u>	—	<u>1,184,401</u>
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	762,020	<u>422,380</u>	<u>1,184,401</u>	—	<u>1,184,401</u>
セグメント利益	103,110	<u>244,442</u>	<u>347,552</u>	—	<u>347,552</u>
セグメント資産	4,713,660	19,113	4,732,774	368,906	5,101,681
その他の項目					
減価償却費	—	1,344	1,344	1,447	2,791
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	—	—	—	—	—

(注) 1 セグメント資産又はその他の項目の調整額は、報告セグメントに帰属しない本社の資産又は費用であります。

2 セグメント利益の合計は、連結損益計算書の売上総利益と一致しております。